

令和7(2025)年度 教育の重点項目

基本理念

「生涯にわたって生き生きと輝く教育」

～豊かに 人と人がつながり 新温泉町の明るい未来を切り拓く～

新温泉町教育の柱である『第3期新温泉町教育振興基本計画』の実施から4年目を迎えようとしています。この間、基本理念のもと「躍動する 新温泉町の教育」を掲げ、授業改善をはじめとする本町教育の充実と、「こどもまんなか社会」実現のため、子どもたち一人一人に寄り添った教育を推進してきました。

令和7年度は、今までの取組をベースとしながら、新たな変化や課題に向き合っていかなければなりません。「ふるさと」、「探究活動」、「情報活用」が本町の多くの学校で力を入れているキーワードです。これらの取組を強化し、新温泉町ならではの特色ある教育の創造を行っていきます。

折しも、令和8年度からは「連携型中高一貫教育校」がスタートします。その大きな時代の変化を見据え、地域性を生かした持続可能な初等・中等教育の推進のため、従来以上に「一貫性」「探究」「連携」を重視した取組を推進します。

1 予測困難な時代を切り拓く生きる力の育成

ICT や AI 等の技術革新の進展は、教育の世界にも大きな影響を及ぼし、今まで以上に変化の激しい時代の到来を予見させます。これからの社会を担う子どもたちには、どんな時代であっても人として不易な価値と、新たな時代が求める資質・能力を確実に育成していかなければなりません。

「連携型中高一貫教育校」への移行を見据え、不易と流行の視点を両輪で捉え、子どもたちに魅力的で系統性のある探究の学びを提供するとともに、コミュニケーション能力を基盤としたグローバル教育を推進していきます。

そのためにも、従来以上に「つなぐ」「つながる」を重視し、幼・小・中・高の連続した「学びと育ち」を保障する教育を展開します。発達段階に応じて高まっていく「つきたい力」と「育てたい姿」を明確にして、各校園でバトンをしっかりとつないでいきます。

- ① 「新温泉授業スタンダード5」を深化させる「主体的・対話的で深い学び」の実践(P9, 22)
- ② 情報活用能力を高め、系統的な探究・実践的な学びの充実(P10)
- ③ タブレット、デジタル教科書等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実(P9, 24)
- ④ 共感の心を育み、命を大切にする人権教育、道徳教育の推進(P12, 13, 27)
- ⑤ 乳幼児期に育てたい力の伸長を促す教育・保育の充実(P19, 20)
- ⑥ 小・中・高の12年間を繋ぐキャリア教育の充実(P17, 20)
- ⑦ グローバル社会に対応する国際理解と外国語教育の強化(P10)

(※括弧のページ数は、「令和7年度新温泉町教育構想」の関連するページを表記しています。)

2 「こどもまんなか社会」実現に向けてさらなる取組の推進と組織力強化

いじめ、不登校の増加が全国的に大きな課題となっています。本町においては、いじめは減少傾向にあるものの、不登校は中学生を中心に増加傾向が見られます。「新規を生まず、継続を減らす」を合言葉に各校園で取り組んできたにも関わらず、1、2学期は順調に登校できていた児童生徒が、ある日を境に登校できなくなるなど、その要因や背景を探ることは容易ではありません。一方で、昨年度 ICT 機器を活用した心のケアや、校内教育支援センターの活用など、一定の成果もありました。一層の効果的活用と、いつでも児童生徒を受け入れられる体制を人的、物的両面にわたって整備をします。

また、特別支援教育にも力を入れ、研修はもちろんの事、出石特別支援学校みかた校との連携を強め、副籍などを活用した学びの機会の充実に努めます。学習の場においては、多様な学びを保障し、子ども一人一人に寄り添う教育を進め、さらには、悩みや苦しみを抱える保護者にも寄り添い、相談体制をしっかりと構築します。

- ① いじめ問題、不登校問題をはじめとする諸課題への積極的対応と子どもの居場所づくりの推進(P13, 23)
- ② 特別支援教育の充実と子どもが有する課題に寄り添う個の尊重(P17, 18)
- ③ 教育支援センターの相談機能の充実(P14, 23)

3 「ふるさと教育」を通した新温泉町の魅力の再発見

令和5年度に策定された「新温泉町文化財保存活用地域計画」では、新温泉町の各地域に点在する有形、無形の素晴らしい文化遺産が数多く再認識されました。

昨年度は、浜坂西小学校で、地域出身の偉人であり、飛騨高山に移り住み「飛騨聖人」と称された「篠原無然」の学習を通して、遠く離れた飛騨高山の小学校とオンライン学習を実施しました。子どもたちが身近な「ふるさと」の偉人を深く知り、ふるさとの良さを再発見する契機となりました。このように、それぞれの校区には、地域の宝として学ぶことで、子どもたちにとって自信と誇りにつながる教育資源が数多く存在します。教育課程に計画的、継続的に位置づけ、地域の良さを体感させることを重視していきます。

さらには、各学校においてコミュニティ・スクールの活動が幅広く行われ、その実績も上がってきている現状から、「地域とともにある学校」づくりを発展させ、保護者・地域住民を巻き込んだ一層のふるさと教育、生涯学習を推進します。

- ① 多様な人々との関わりを通し、社会や人とつながる教育の推進(P20, 25)
- ② 校区や新温泉町に愛着と誇りを持たせ、行動する「ふるさと教育」の充実(P11, 28)
- ③ 持続可能な町づくりを担う人づくりに寄与する探究活動の実践(P25, 28)